

渡田まちづくりクラブ

渡田1、渡田2、渡田3・4、渡田向町、渡田新町1・2、渡田新町3、渡田東町

地区版まちづくり白書「みんなが笑顔ず〜っと住みたいまち渡田・渡田まちづくり未来プラン(平成27年3月改訂版)」に基づき、4つのチームに分かれて活動しています。

交通チーム

●自転車交通安全街頭活動

渡田地区の自転車交通事故の防止を図るため、自転車の交通マナーやルールを街頭で呼びかけています。28年度は3月12日(日)、市電通りで街頭啓発活動を行いました。

●交通事故発生箇所マップ

交通事故発生箇所を地図に落としとしてイベントなどで展示。交通安全の啓発につなげています。



防犯・防災チーム

●夜間パトロール

防犯灯、ごみ、放置自転車、交通マナーなどを町内会ごとに夜回りでチェック。夏期は盆踊り会場もパトロールしています。



環境チーム

●花壇活動

花いっぱい渡田地域をめざし、渡田交番前花壇や周辺道路の植栽帯に季節の花を植えたり、日々の水遣りなどを行う活動をしています。



コミュニティチーム

●渡田まちづくり防災フェス

例年、地域の交流を深めるイベントを企画しています。28年度は防犯・防災チームと合同で「渡田防災フェス」を10月30日(日)、田島小学校で開催。AED操作体験や三角布・包帯法訓練、仮設トイレ設置体験など7つのプログラムを約150名が体験しました。



Interview

渡田まちづくりクラブ

かとう かすまさ
加藤 壱将 代表

— 渡田まちづくりクラブを紹介していただけませんか。

渡田まちづくりクラブは、7つの町内会から5名ずつ35名を選出し、4つのチームに分かれて活動しています。全体会議は年7回程度、各町内会館持ち回りで開催。協力体制がその場で確認されます。各チームの自主性を尊重し、町内会の枠を超え、和気あいあいと活動ができること、真面目に着実に活動を推進していることが自負です。



— 渡田のまちはどのようなまちでしょうか。

渡田は、新川通り、市電通り、浜川崎線の間にある地域で、名のごとく、昔は水田の多いところだったようです。かつては鉄鋼、電機、石油などの業界で働くため、各地から働きに出てきた人も多く、いうならば労働者のまち、下町風情のまち。数百年も前から住んでいる人も平成になってから移り住んだ人も仲良く、新田神社を中心に祭礼が行われ、神社の神輿を若い人が担ぎ町内を渡御します。さらに若竹会、子ども会活動、地区社会福祉協議会、民生委員、老人会も地区を基盤として活動しており、若さも老いも縦横無尽に長い間つながりができており、そのことが、渡田地区における各組織の原動力につながっていると感じています。